

# 「地域医療の窓口としての責務を全うする」



■『ひろせ中央クリニック』では内科を中心に身体の様々な不調に対する診療を行なっている。診察ではホワイトボードを使って丁寧な説明を行い、患者が納得して治療に臨めるよう工夫を重ねて地域のかかりつけ医として信頼を獲得している。地域医療の窓口として役割を果たす岩崎理事長に、ダンカン氏がお話を伺った。

## 岩崎理事長の足跡——

福島県出身。『新潟大学』医学部を卒業後、外科医となり、東京で研修医経験を積んで『東北大学』第一外科に入局。がん治療のスペシャリストとして、現場の最前線で数多くの手術に携わる。約18年間勤めた後、閉業した院を受け継ぐ形で『ひろせ中央クリニック』を開業。地域の頼れる家庭医として活躍を続けている。

対談・・・理事長・院長 岩崎剛一 × ダンカン (タレント)

## 外科医師として高度な医療に携わり 経験を活かして、家庭医の道を歩む

ダンカン 早速ですが、岩崎理事長の歩みから伺います。

岩崎 医学部卒業後は『東京通信病院』で研修医として経験を積ませていただきました。それから、『東北大学』第一外科に入局。以降も『白河厚生病院』『十和田市立病院』『癌研究会付属病院』など、様々な病院で勉強させてもらったのです。専門は外科で、その中でもがん治療を主に手掛けており、執刀医として数多くの手術を経験してきました。また、勤める中では救急外来も担い、医療の最前線に身を置いてきたことが今に活きていると感じています。そうして、約18年間勤務医として研鑽を積んだ後、2004年に『ひろせ中央クリニック』を開業した次第です。

ダンカン 独立については、ずっと考えておられたのですか。

岩崎 いえ、独立を志していたというよりは、縁があって開業したという感じですね。と言いますのも、当院はもともと『大河原医院』との院名で別の院長が運営されていたのですが、その方が体調を崩されたために閉院することになりました。それで、前院長の後輩にあたる私に声がかかり、お引き

受けさせていただいたのですよ。閉院してからおよそ1年後に現在の院名で新たなスタートを切った次第です。

## プライマリーケアをモットーとし 患者様の心に寄り添う診療を実践

ダンカン 縁があったとはいえ、一外科医師から地域医療を担う開業医に転換されるのに、ご苦労もあったのではありませんか。

岩崎 そうですね。大きな括りでは同じ医療ですが、執刀医と家庭医とでは求められる知識や技術が異なりますから、当初は戸惑うことも多かったですね。基本的に、執刀する外科医は他の医療機関から紹介を受けて患者様の治療の最終段階を引き受けます。一方で、開業医や家庭医は医療の入り口として、診療後に患者様を然るべき各医療機関へ紹介していく立場なんですね。18年間外科一筋の私にとっては、メスを置くことがまず最初の試練でした(笑)。ただ、執刀医でも



家庭医でも、人々の健康を支えるという医師の本分が変わりはありませんから、その矜持を胸に、開業を決めてからは内科をはじめ様々な分野を勉強し直しました。もちろん今でも、定期的に研究会や講習会に出席するなど、知識を養うように努めています。

ダンカン 医師として、高い向上心をお持ちですね。診療で大切にしておられることは何でしょう。

岩崎 患者様との距離を大事にしながら、密にコミュニケーションを図るように心がけています。私は診療に際して、ホワイトボードを使って細かく病状をご説明差し上げていましてね。ご自身の病状をきちんと理解せぬまま治療に臨むと患者様の不安は一層高まると思います。ですから、治療と共に、不安を抱えた患者様の心もケアしていくことが真の医療だと考えています。

ダンカン 患者様に親身に寄り添う理事長の姿勢が、信頼を寄せられる所以なのでしょうね。では、クリニックとしてのモットーをお聞かせ下さい。

岩崎 当院は、内科、小児科、皮膚科、外科、リハビリテーション科を標榜しておりますが、そうした診療科目にこだわらず、プライマリーケアをモットーとして、地域の患者様の健康管理のお役に立てればと思っています。たとえば、身体に不調があるものの、どの診療科に相談したら良いのか分からない場合、まず当院を訪れてほしいと思います。当院での治療が難しくても、責任をもって然るべき専門病院をご紹介しますので、医療の窓口として患者様にご活用いただければ嬉しいですね。

ダンカン 地域医療の窓口として、他の医療機関との連携も重要になるとは思いますが、そうした点では理事長の勤務医時代の経験は存分に活かしておられるのではありませんか。

岩崎 ええ。外科医時代に築いた人脈や

ネットワークは当院を支えている重要な要素だと感じています。近隣の医療機関、特に外科医には知人や先輩・後輩が多くいるので連携が非常にスムーズで、何かあればすぐに対応ができます。そうした面も患者様の安心感につながっているように思います。また、かつて外科医として紹介先から患者様を引き受ける立場を経験したことから、受け入れる側の状況も理解できますので、診療に際して臨機応変な対応やスムーズな手続きができる点は強みですね。そして、長くがん治療に携わってきた経験から、診療で初期のがんを発見することもあります。

ダンカン 理事長が経験されてきたこと全てが活かされているんですね。お話も尽きませんが、最後に今後の抱負を。

岩崎 現在は、子どもから祖父母の世代まで、一家のかかりつけ医となっていることも少なくありません。開業時に診察した時は乳幼児だった子ども今では小学生になり、そうした成長を見守ったり、地域の方々とながらつながっていることに、医師としてのやり甲斐を感じています。今後も現場に立てる限り今の方針を貫き、地域医療の窓口としての役割をもって、患者様お一人おひとりに丁寧で安心できる診療を行なっていきたいと思います。

(2012年9月取材)

## 患者と足並みを揃え 共に治療に臨む

▼今年10月で8周年を迎える「ひろせ中央クリニック」。立ち上げ当初は患者数も少なかったというが、クチコミで医院の評判が広まり、今では午前9時の診療時間前から多くの患者が岩崎理事長の診察を受けようと列を成しているという。そんな信頼厚い理事長の診療スタイルは、外科医として最先端医療に携わっていた勤務医時代に培われたものだ。丁寧な説明をモットーに、患者が納得し、安心して治療に臨める関係づくりに心を砕いてきた。手術後には、時間が許す限り病室に足を運び、患者と会話しながら術後の様子を観察した。当時と現在とでは活躍するフィールドは異なるが、治療に関わった患者が回復に至るまでフォローする姿勢は同じなのだという。外科医として救急外来も担当していた理事長は、開業後も朝早くからやってくる患者を待たせることを当たり前とは思わず、診療開始時間を早めて受け入れるなど地域の人々の期待に応えてきた。理事長が真の医師たる所以は、患者を思いやるその“心”にあるのだろう。

### QUEST COMMENT

#### ダンカン (タレント)

「治療を終えた後の患者様の安心された笑顔が仕事のやり甲斐」だとおっしゃっていた岩崎理事長。高度な医療技術、知識だけでなく、柔軟な姿勢で患者様と信頼関係を築かれる姿勢が、さらに厚い信頼を呼び寄せていると感じました。今後も地域医療を支える存在としてご活躍を続けて下さい！」



### INFORMATION

## 医療法人 ひろせ中央クリニック

宮城県仙台市青葉区落合 2丁目 4-12  
TEL 022-391-0755 FAX 022-391-0756

